



高知大学
Kochi University

All roads *lead* to the future リード

Lead

コミュニケーションペーパー

2019 秋号
Autumn

No. 031

¥0
TAKE FREE

〈特集〉

〈特集1〉

「子ども食堂」を舞台に、
社会福祉を考える

〈特集2〉

ミトコンドリアの
新たなメカニズムを発見!

ぼくらのキャンパスライフ
高知の獣害を狩猟を中心に考える
『土佐の懸橋 ハンプロ』

キラ星高知大生
「医療情報学連合大会」で
最も荣誉ある賞を受賞!

活躍の場が広がる
高知大学“連携”の力を支えに
～心と体の健康管理から国際交流まで～

Kochi University Topics





人文社会科学部3年生 森弓花さん



5月に開催された芋植え

「基本的には子どもと一緒に遊んでいます。ボール遊びや折り紙をしたり、本を読んだり、ゲーム機を使ったスポーツ大会をやったり。ごはんを一緒に食べる、宿題を見てあげる、といったこともします。話をするのも楽しく、小中学生の恋バナを聞かされるんですが、ヒュアでかわいいですよ」

子どもたちの希望を聞いて、イベントも企画実行します。夏には夜の寺を巡る肝試しを行う好評で「祭り」について、催しを考えている最中です。3年生が特に力を入れているのが、独自に企画した初開催のイベント「芋けんぴプロジェクト」。子どもたちと一緒に、畑にサツマイモの苗を植え、育てて収穫し、芋けんぴを作ろうというものです。子どもたちと一緒に食べるだけではなく、最終的には、高知市中心部で開かれる大露天市「日曜日」で販売するのが目標だそうです。

子ども食堂「えいや家」で、学生たちも子どもたちもかけがえのない経験を積んでいる、と西島先生は考えています。「学校や友だちの悩み、恋の話など、親や先生の上下関係のなかでは話さないようなことを、子どもたちは学生たちに明かしています。上下関係ではなく、友だち同士の横の関係ともちょっと違う、斜めの関係といえますか。学生にも子どもにも、こういう場があるのは貴重だと思います」

「えいや家」を運営するNPO法人GIFTの事務局長、眞鍋大輔さんは「高知大生にはとても助かっています。ちょうど年上のおねえさん、おにいさんが来るのを、子どもたちは待ちわびています。身近で憧れの存在なのでしょう。こんな



「子どもと遊び、話すなかで、研究の課題を見つける」

子どもたちの希望を聞いて、イベントも企画実行します。夏には夜の寺を巡る肝試しを行う好評で「祭り」について、催しを考えている最中です。3年生が特に力を入れているのが、独自に企画した初開催のイベント「芋けんぴプロジェクト」。

子ども食堂「えいや家」で、学生たちも子どもたちもかけがえのない経験を積んでいる、と西島先生は考えています。「学校や友だちの悩み、恋の話など、親や先生の上下関係のなかでは話さないようなことを、子どもたちは学生たちに明かしています。上下関係ではなく、友だち同士の横の関係ともちょっと違う、斜めの関係といえますか。学生にも子どもにも、こういう場があるのは貴重だと思います」

「えいや家」があるのは、高知大学朝倉キャンパスからそう遠くない場所。このため、学生には「地元」といった感覚があり、当事者意識を持って活動できます。「このゼミで現代版セツルメントのような活動をするのが今後の目標です。セツルメントとは19世紀のイギリスで始まった社会運動です。地域に入り込み隣人として住民と交流することによって地域のニーズや課題を発見し、地域社会全体に働きかけて、変えていく。学生たちがこう



NPO法人GIFTの事務局長 眞鍋大輔さん

「子ども食堂」を舞台に、社会福祉を考える

子どもを支えるコミュニティの場として、近年、全国的に増えてきた「子ども食堂」。人文社会科学部准教授の西島文香先生のゼミでは、この子ども食堂でボランティア活動を行い、社会福祉の研究につなげています。



えいや家での活動の様子



人文社会科学系
人文社会科学部 准教授

にしほ ふみか
西島 文香

高知市朝倉地区出身、子どもの頃夏休みは高知大学朝倉キャンパスでゼミ捕りをして遊ぶ。大阪府立大学社会福祉学部卒業、同大学院社会福祉学研究科博士後課程単位取得退学。修士(社会福祉学)。大学非常勤講師、専門学校講師などを経て、2006年、高知大学に着任。「子ども食堂に行ったのは、調査が半分。残り半分は、家事と育児の手を抜くためです」



ゼミ活動の二環として、子ども食堂に参加

地域住民が主体となって、子どもたちに食事を無料あるいは低価格で提供する「子ども食堂」。高知市西部の有料老人ホームで週1回、NPO法人GIFTによって開かれている「えいや家」もそのひとつです。「えいや家」がほかの子ども食堂と違うのは、準レギュラースタッフとして高知大生が加わっていること。福祉政策を専門とする西島文香准教授のゼミで学んでいる学生たちです。

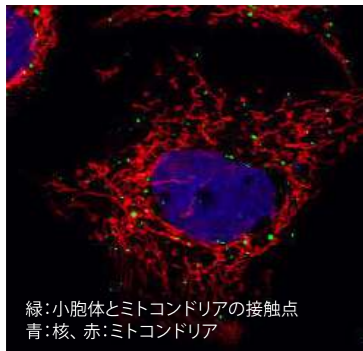
「『えいや家』には、4年生が昨年度から行くようになり、いまは3年生が中心に通っています。毎週木曜に開くゼミのなかで、『えいや家』での活動内容や子どもたちの様子を話し合い、みなで体験を共有して課題解決の方法などを考えています」と西島先生が学生たちの活動を紹介します。

子ども食堂が西島ゼミの研究対象になったのは3年前、ゼミの学生の1人が研究テーマとしたのがきっかけ。その学生は子どもの貧困問題に関心を持っていましたが、どうアプローチしたらいいのか悩んでいたとのこと。そこで西島先生が「子ども食堂に行けば、課題が見える

かもしれないよ」とアドバイス。学生は複数の子ども食堂に通って、子どもたちと接しながら調査し、比較研究をして卒業論文にまとめました。

この学生の活動と並行し、以前から子どもの孤食や欠食に関心のあった西島先生もリサーチをスタート。「自分の子どもを連れて、いろいろな子ども食堂を親子で利用してみました。そうしたなか、食事を提供するだけでなく、居場所としての活動にも力を入れている『えいや家』と出会いました。子どもは居心地が良さそうで、利用する親同士もつながりがある。多様な関係性があってもいいな、と思いましたね」と西島先生は話します。

興味をもった学生たちも「えいや家」に通うようになり、西島ゼミの新たな学びのフィールドが誕生しました。現場でサポートするには、専門的な知識も必要と、西島先生と学生たちは高知県社会福祉協議会のボランティア養成講座を受講。子ども食堂の意義や運営方法、食の基礎知識、調理上の注意点、子どもたちとの関わり方などを学び、「えいや家」にボランティアスタッフとして参加するようになりました。



緑:小胞体とミトコンドリアの接触点
青:核、赤:ミトコンドリア

細胞内にある不思議な小器官、ミトコンドリア。その新しい機能調節メカニズムを、複合領域科学部門准教授の難波卓司先生が発見しました。老化の仕組み解明にもつながる、その注目の研究成果を紹介いたします!

〈特集2〉 ミトコンドリアの 不思議な機能新発見!

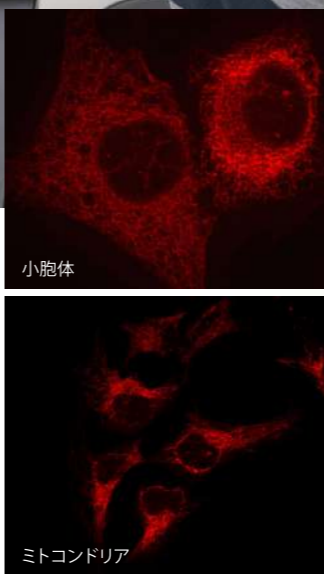
人の老化と
細胞の老化は
違うんです

「ミトコンドリアと小胞体の謎を解き明かす」

ほとんどの生物の細胞内において、呼吸やエネルギー生成を担うミトコンドリア。生命維持に欠かせないことのできない、このユニークな細胞小器官の新たなメカニズムについて、難波先生が高知大学での5年間に及ぶ研究で発見。2019年6月、米国科学誌

「Science Advances」に発表しました。

難波先生の専門分野は、ミトコンドリアや小胞体の働き、機能の解析。今回発表した論文は「小胞体とミトコンドリアがお互いに協力しあっていることを研究したものです。そもそも小胞体とミトコンドリアとはどういったものなのか、難波先生にレクチャーしてもらいました。



「細胞小器官は細胞のなかでいろいろな働きをしています。小胞体の重要な役割は、たんぱく質を作ることです。たんぱく質は元々、アミノ酸がつながった一直線の長い鎖のような形をしており、そのままでは利用することができません。ちゃんと働かせるにはきれいに折りたたんで、立体構造にする必要があります。その形に変える作用を持っているのが小胞体です」

ているのではなく、同じような場所にあつて、接触していることがわかってきました」

難波先生は高知大学に赴任する前、留学先のハーバード大学で、この小胞体とミトコンドリアの接触領域の研究をしていました。今回の研究内容は、それをさらに大き

く進めたもの。カギとなったのは、両者のたんぱく質です。

「ミトコンドリアもたんぱく質を作ることができますが、ごく一部だけ。それ以外のほとんどのたんぱく質は、細胞内から輸送しなければいけません。その働きで重要なのが、接触領域で小胞体のBAP31、ミトコンドリアのTom40というたんぱく質が接触することです。解析の結果、2つが相互作用を起すことによつて、ミトコンドリア内部へのたんぱく質の輸送が促進することがわかりました」

細胞の老化にも関係するミトコンドリアをうまく機能させるためには、接触領域における小胞体との

連携が欠かせないわけです。これは大きな発見でした。もう一つ、難波先生の研究で明らかになったのは、ストレスを受けたときの変化です。「栄養の不足や過剰といったストレスが小胞体に影響すると、接触領域の機能が悪くなる」ことが判明しました。BAP31、Tom40の相互作用が弱まって、ミトコンドリアがたんぱく質を取り込みにくくなるのです。接触領域がミトコンドリアの機能を左右していることは、これまでにわかっていませんでした」と難波先生は研究の成果を語ります。

「研究はアイデア次第、とてもクリエイティブ!」

今回の研究は、BAP31の機能解析から始まったとのこと。小胞体とミトコンドリアの接触に注目して解析を続けるうちに、ミトコンドリアの機能が変化することを見出し、文献をすべてチェックして、これまでにならぬこと、わかっていることを洗い出し、実験データから「次はこうなるんじゃないか」と考え、解析による実験を重ねていきました。「仮説を立てて、それが正しいか

では、ミトコンドリアはどういった役目をするのでしょうか。「細胞が活動するためのエネルギーを作るのがミトコンドリア。機能が弱くなると、細胞そのものの元気がなくなっていく。このため、ミトコンドリアの活性を保つことが、細胞の老化抑制に役立つことになりました」

こうした重要な働きを持つている小胞体とミトコンドリア。難波先生はその新しい関係性を解き明かしたのです。

「老化を防ぐミトコンドリア小胞体と接して活性化」

生物の教科書などには、細胞の模式図がよく載っています。その多



どうか実験して確かめます。仮説に近い結果が出たら、さらに前へと進めていく、という感じですね」と難波先生は研究の仕方を説明。思い通りにいかないケースもよくあるそうですが、それも研究の面白いところだと話します。

「ダメだったら、次の仮説を考え、また実験で確かめながら進めます。研究というのは、とてもクリエイティブな仕事なんです。特に仮説を立てて、それが正しいかどうか試していくというのは、本当にクリエイティブな活動です。まだわかっていないことをやろうとしているので、どんな想像でも、どんな考えでもかまわない。アイデア次第です」こうした研究の面白さを知ること、研究者の道に進まなくても、貴重な経験、大きな宝になると思います。「自分で考えて、新たな発見をして、それを確かめる。こうした

「小胞体は核の周りだけではなく、広範囲に点在しています。一方、ミトコンドリアは長いものや小さいものなど、さまざまな形をしています。最近、こうした小胞体とミトコンドリアは離れて存在し

訓練は、問題解決能力を高めます。社会に出たとき、とても役に立つと思いますよ」

難波先生がこれからの研究対象として考えているのは、細胞の老化。「人の老化と、細胞の老化は違うんです。ミトコンドリアの機能が低下した細胞は、その後どうい運動をたどるのか。そのまま崩壊するのか、意外にも時間がたつたらまた元気になるのか。非常に興味がありますね」と難波先生は目を輝かせました。



総合科学系
複合領域科学部門 准教授

難波 卓司

岡山県出身。岡山大学薬学部卒業、熊本大学大学院薬学教育部分子機能薬学修士、博士課程。博士(薬学)。ハーバード大学メディカルスクール・マサチューセッツ総合病院博士研究員を経て、2014年、高知大学に赴任。「研究者の道に進もうと思ったのは中学生のとき。研究は論理性が大事で、インパクトの強さなども考えながら仮説を立てます」



ぼくらの キャンパスライフ

高知大生の今にエール!

高知の獣害を狩猟を中心に考える 『土佐の懸橋 ハンプロ』



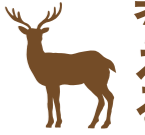
商業コラボでの商品加工



本山町での出前授業



鹿角のキーホルダー



ジビエ料理

ほかにも、農家に対する被害の聞き取り調査や、狩猟からの情報収集など、『ハンプロ』の活動は多彩。副代表の池見優美さんは「狩猟を中心に据えながら、教育活動などにもつながられるのが『ハンプロ』の魅力です。豊かな自然と触れ合える機会もあれば、おいしいジビエ料理を食べられるという楽しみもあります」と笑顔で話してくれました。

狩猟免許を取得し、 ワナを手についれよう!

じつは代表、副代表たちはまだ狩猟を体験したことはありません。『ハンプロ』の拠点は、農林海洋科学部のある物部キャンパスですが、同学部では1年生のときだけ朝倉キャンパスで学ぶからです。代表、副代表さんたちは「入学当初から興味がありました、キャン



罠の設置練習



イノシシの捕獲

パスが離れているので入会できませんでした」と口を揃えます。念願の『ハンプロ』の一員になった彼女たちは今秋、狩猟免許の取得に挑戦する予定。試験は筆記と面接、ワナのかかたなどの実技です。

狩猟シーズンは11月から3月までで、『ハンプロ』では例年、香美市土佐山田町林田地区にくりりワナを仕掛け、イノシシを捕獲。毎日フィールドに出て確認し、かかっていたら、狩猟さんのサポートを受けて、どこめを刺す「止め刺し」をします。

獲るところから加工、販売まで、一連の流れを体験できるのが『ハンプロ』ならではの活動です。農家さんと動物たち、両方の立場から見ることによって、獣害を考えることが大事ではないかと思えます」と増田さんは話します。自然のフィールドが身近なところにある高知大学。その特色を最大限に活かすサークルが『ハンプロ』です。



左から、農林海洋科学部 農林資源環境科学科2年生
いけみ ゆみ ますだ ありさ のむらりこ
池見 優実さん 増田 有沙さん 野村 莉子さん

狩猟、教育、商品開発の懸け橋として奮闘中の

『土佐の懸橋 ハンプロ』

物部キャンパスで毎週金曜の昼休み、食事をしながらミーティング。狩猟シーズン以外は環境教育などの活動が多い。徳島大学の同系統のサークルとの合宿など、他大学との交流も実施。



学内外でキラッと光る
高知大生をピックアップ!

キラ★ 高知大生



学部学生、女性として
今回表彰されたのは菅田さんのみ
熊本で開催された
医療情報学会での発表

いるものを省いていくという根気のいる作業を重ね、最終的には3700人ほどにデータを絞って解析しました。「たくさんデータがあるほうが、信頼性はより高くなります。30年の蓄積は大きいですね。研究を進めるうちに、新しいことがどんどんわかってきました」と菅田さんは話します。

「先端医療学コース」で 研究の面白さに出会う

菅田さんが学んでいるのは、「先端医療学推進センター」の教育プログラム「先端医療学コース」。独自の医療・再生医療・情報医療学・社会連携・臨床試験の5部門があり、約20の研究班が設けられています。「1年生のときに統計医療学という必修の授業があり、データの解析が面白いと思いました。論文でも統計学的解析は必ず行われており、先端医療のなかでも、今後、一層必要になる分野だと思って、このコースを選びました」と進路選択の理由を明かします。

今後は学会で発表した内容をさらに掘り下げて、医学系雑誌に投稿する論文作成に取りかかるそうです。「先端医療学コースで学んで、研究の面白さがわかりました。将来は臨床だけではなく、研究にも携わっていきたいと考えています」と菅田さんは目を輝かせました。

菅田さんの研究班に所属しているのは4名。高知大学の医療データを利用して、それぞれ独自の研究を行っており、なかには医療情報学連合大会で「研究奨励賞」を受賞した学部生もいます。ほかの研究班も学会発表などに積極的に参加しており、若手研究者賞など様々な賞を受賞しています。

高知大学に蓄積された 膨大なデータを解析して発表

毎回、全国から約3000人の専門家が集まる大規模な学術集会「医療情報学連合大会」。2018年11月、福岡国際会議場で行われた第38回大会に、医学科4年生(当時は3年生)菅田夏央さんが参加し、見事、「優秀口演賞」を受賞しました。同賞は300題以上の口演発表が対象。そのなかから、極めて優れた3演題のみに授与されるもので、学部学生が受賞するのは異例のことです。

「発表のときには、質疑応答の際に鋭い質問を受けたこともあって、正直、手ごたえはありませんでした。ほかの研究者の方の発表を聞いても、ああ、私はまだまだだな...と。なので、受賞を聞いたときはとてもびっくりしました。同時に自信にもなり、自分のやっていることは間違っていない、このまま研究を続けてもいいんだなと思いました」と菅田さんは受賞の喜びを語ります。



菅田さんの口演発表は「病院情報システムのデータを用いた経口血糖降下薬併用パターンと治療成績の関係の網羅的探索」というもの。「II型糖尿病患者の薬剤は7種類ありますが、どういった組み合わせが最も良いのか、まだ確かなエビデンス(科学的根拠)はありません。発表した研究は、高知大学が長年蓄積してきた電子カルテの医療データを使い、統計学的に解析したものです」

じつは、高知大学は約30年前、初めて電子カルテを導入した国立大学。医療情報を扱う研究者の間では、膨大なデータを持っていることで知られています。菅田さんは大会会場で、「高知大学は貴重な医療データがたくさんあって素晴らしいですね。研究のやりがいがあるでしょう」と他大学の研究者から声をかけられたそうです。

菅田さんは今回の発表にあたって、何万人もの電子カルテの医療データを研究。その一つひとつをチェックし、必要な情報が抜けて

「医療情報学連合大会」で 最も栄誉ある賞を受賞!

医学部医学科4年生、菅田夏央さんが快挙、医療情報学の研究者が300題以上を発表したなか、特に優れた「優秀口演賞」に選ばれました。

表彰状

優秀口演賞
菅田 夏央 氏
2019年6月7日
一般社団法人 日本医療情報学会
代表理事 丸江 和彦

先端医療学コース 情報医療部門
メディカルデータマイニング研究班所属
医学科4年生

すがた かお
菅田 夏央さん

高知大学“連携”の力を支えに

2017年に高知大学に着任以来、さまざまな分野に活動のフィールドを広げる保健管理センターの井上顕教授。それが成し遂げられるのは、高知大学が持っている連携の力だと話します。

教職員の熱心な取り組みで 学生支援に手厚い大学

「まず、保健管理センターの役割と、先生の仕事について教えてください。」

●井上／保健管理センターは、学生の心と体の健康管理を担います。最も大きな業務は、春に行う学生の健康診断です。また通常業務として、キャンパスで学生や教職員の体調が悪くなったときの診察や投薬、ケガの初期対応、健康相談などを行っています。私は、精神科医としてメンタルヘルスを担当し、心理士の先生にもカウンセリングを担当していただきながら、看護師さん、事務職員さんにも支えてもらっています。



保健管理センター

身体や精神的に修学が難しいと感じている学生に対しては、教育的な配慮のための環境整備が必要なこともありま。大学のなかでできることとして、広く学生たちが学ぶための環境をつくるのが大切で、私の専門の一つである公衆衛生学の視点を活かせると思っています。そのためには、当センターと特別就学支援室や学生支援課などの連携や、教職員の理解が必要で。高知大学に着任して感じたことは、学生支援に非常に手厚い大学だということです。関わっている教職員が非常に力を入れてサポートしています。今後、学生を取り巻く環境が一層充実することは間違いありません。



教育：カザフ国立大学から「教育感謝賞」の贈呈 [2018年11月6日]

中四国の大学で初の カザフ大留学を実現

「高知大学では国際連携推進センターの国際プロジェクト部門長として、国際交流の分野にも取り組まれています。」

やスタッフに対する講義や研究のサポートを行うほか、自身の研究もしています。



研究：セメイ国立医科大学での研究指導風景 [2019年2月27日]

高知大学に着任後も研究は継続して、高知大学の井上としてカザフスタンを訪ねている中で、高知大学がセメイ国立医科大学とカザフ国立大学の2校との協定締結へ発展しました。高知県はピキニ環礁での水爆実験で被ばくした第五福竜丸にゆかりがあり、カザフスタンとも共有できる事項といえるかと思えます。今後、地域同士の確たる交流にまで広げたい夢もあります。

方々が集まっています。私もその中で精神医学、公衆衛生学、保健管理学に携わる者として、その特徴を活かすことができたいと思っています。ただ、現実には自分にとって新しいことばかりで、学ぶことは多いですね。一つひとつ学んでいき、高知大学国際交流の更なる発展に少しでもお力になればと思います。

周到な準備が研究や教育を 成功に導く

「科研費に採択された研究も進めているそうですね。」

●井上／現在、5件の研究を進めています。代表者として進めているのは自殺対策のための疫学研究です。統計の分析を

学内の連携仲間から ひと言



国際連携推進センター センター長 (地域協働教育学部門教授)

新納 宏

「プロジェクト部門長としての井上先生の仕事は「はい、うまい、安い」に尽きる。研究費がりのカザフ国立大学、セメイ国立医科大学との交流協定は目にもとまらぬ「速さ」で締結、「うまく」学生交換につながりました。ロシア語を勉強したい人には朗報。また出張のたびに「講演もする、ついでに留学フェアも出てくる」という。掛けもちなので「安い」。今はメキシコのアエブラ大学との全学協定を助けてもらっています。協定が結ばれば、学生にはスペイン語を基礎から学ぶ機会が開かれます。」



人文社会科学系 人文社会科学部門 教授

周 雲喬

教育や、国際関連では先生の丁寧な指導を感じています。8月中旬から下旬まで先生が主対応の国際関係ツアー(カザフスタン共和国)があり、人文社会科学部から3名も参加予定。先生の優しさ・人柄もあっての成立であると思います。医療では、先生にはメンタルのことはもちろん丁寧に対応していただいていますし、フィジカルや感染症のことも、大変お世話になっています。先生がいらしてくれて安心してお願いできますし、信頼の強い先生です。



医療学系臨床医学部門 教授 国際連携推進センター 国際プロジェクト部門長

井上 顕

聖マリアンナ医科大学卒業。三重大学大学院医学系研究科博士課程修了。博士(医学)。専門分野は公衆衛生学、精神医学など。藤田保健衛生大学医学部講師、鳥根大学医学部准教授などを経て、2017年、高知大学に着任。「スケジュール管理は手帳で。ただ、全部頭に入れて。どの仕事も締め切り間に合うよう、自分の力量を計って逆算し、準備を開始するようにしています」



総務課 森田

井上先生は大学の広報企画専門委員会の委員で、広報に役立つような情報を常に広報係に教えてください、われわれ事務方と情報共有を図ってくださいます。大学広報の重要性という観点から、教員や学生はもとより、マスコミ関係者などとも積極的につながりを持たれ、高知大学の情報発信に貢献いただいています。



人事課 木村

産業医として教職員のメンタルヘルスの対応をお願いします。職場復帰を願う教職員に対する面談では、受け入れ側の体制も整えられるように所属長が同席するとともに、私も出席します。井上先生が担当されてから面談の前・後に私とディスカッションをしています。私からの意見を大切にしてくださっています。



研究推進課 河野

科研費獲得のための研究計画書に目を通すなどで、井上先生と関わっています。年々、運営費交付金が削られる中、研究費は自らとってこなければいけない状況で、科研費の採択率は3割程度ととても厳しいものになっています。そのような中、先生が5件の科研費を取っているのはすごいことだと思います。



経理室 依光

井上先生の活動や研究に伴う事務を担当しています。研究に必要な物品の手配や会計処理のチェックなどを行うのですが、先生は必要な書類の提出も早く、こちらからの質問に対する回答も早いので、仕事がとてもスムーズに進められます。私の知る限り先生が提出期限に遅れたことはありません。



2019年5月末まで留学していた土佐さきかけプログラム国際人材育成コース2年生の井上日南子さん。(写真右から二人目)カザフ国立大学(カザフスタン共和国)への留学は中四国地方では高知大学が初めて。

高知大学教職大学院 「第3回土佐の皿鉢ゼミ」を開催

8月21日、高知大学朝倉キャンパスにて「第3回土佐の皿鉢ゼミ」を開催しました。

本ゼミは、教職大学院生及び本学内外の教育関係者が、高知県の学校教育に関する課題を検討し、多様な教育課題を複眼的視点から捉え、理論に基づいて深く掘り下げて探求することを目的とし毎年実施しており、3回目となる今回は、学外者を含む約270名が参加しました。

ゼミでは、柳林信彦専攻長及び櫻井克年学長による開会の挨拶が行われた後、尾崎正直高知県知事から、「高知県の教育改革と新たな時代への挑戦～高知県の教育と教職大学院に期待すること～」と題し、高知県の現状と政策及び教職大学院における学びへの期待等について講演が行われ、その後、教職大学院生によるさまざまな実践研究の発表があり、引き続き、積極的なコース別討論会（学校運営コース、教育実践コース、特別支援教育コース）、全体協議が行われました。

参加者は、教育課題の対応及び教職大学院の実践研究等に理解を深め、教育・研究の充実を図る機会となりました。



講話する尾崎正直高知県知事

挨拶する櫻井学長

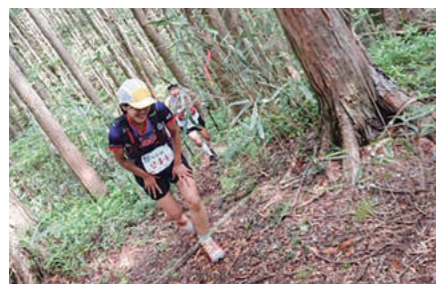


教職大学院生の実践研究発表



会場の様子

「第12回高知大学演習林トレイルラン」を開催



7月7日、「第12回高知大学演習林トレイルラン2019」を開催しました。同大会は、森林管理道のスポーツへの活用と教育研究フィールドである高知大学演習林を多くの人に知ってもらうことを目的として毎年実施しています。

本大会の特徴は、距離は短め（15km、30km）ですが、累積標高差が大きく厳しいコースレイアウトと大学職員と学生が中心となり運営していることです。平成20年に参加者わずか29人で始まったこの大会ですが、今では参加者募集開始後約4時間で定員（250名）に達する超人気イベントへと成長しました。今大会は、12回目初めて快晴下で開催され、総勢267名が出走し変化に富んだ大学の森をそれぞれのペースで駆け抜け楽しまれました。

医学部附属病院敷地内に薬局棟とアメニティ棟を整備



9月2日、医学部附属病院の正面玄関近くに、薬局棟と2階建てのアメニティ棟（コンビニや図書コーナー、職員用の福利厚生スペースなど）が整備されました。

これは本学がJA三井リース建物に20年間契約で土地を貸与し、同社が施設を整備したものです。薬局棟には日本調剤がテナントとして入り、敷地内に薬局ができたことで患者さんの利便性を図ることができました。また、南向きの図書コーナーはどなたでも利用できる便利なスペースとなっています。

附属小学校合唱部が第1回全日本合唱コンクール全国大会に出場決定！



教育学部附属小学校合唱部は、令和元年8月4日春野ピアステージで行われた全日本合唱コンクール高知県大会小学校部門において見事、金賞を受賞し、11月3日に新宿文化センターにて開催される全日本合唱コンクール全国大会に高知県代表として出場することが決定しました。

この全日本合唱コンクール全国大会には今年度から初めて小学校部門がおかれ、附属小学校合唱部は名誉ある第1回大会への出場となりました。

課題探求セミナーで5人の学生が高知大学のマスコットを考案！



5人の学生のマスコットづくりは、学生に対し「高知大学といえば？」とアンケートを取ることからスタート。「自然豊か」や「よさこい」という意見が多かった中、調度その時期に朝倉キャンパスに出没した「ふくろう」が話題となり、作成するマスコットは「ふくろう」に決定。「こぶく」と名付けられた愛らしいマスコットには、特徴やお気に入りの場所など、細かな設定までしっかりあります。

国際連携推進センター主催講演会&ワークショップ『日本ビジネス文化』を開催



6月22日、国際連携推進センター主催の講演会&ワークショップ『日本ビジネス文化』を開催し、本学留学生や高知県内の留学生、また日本人学生や教職員など約30名の参加がありました。

講演会では、成蹊大学鈴木賞子氏（成蹊教養カリキュラム全学教育講師）から、留学生の日本での就職活動の基本や特徴のほか、企業が留学生を積極的に採用する理由や企業が求める人材と留学生への期待などについて幅広く解説いただきました。

講演会後のワークショップでは、実際の採用選考の場で行われるグループワーク・グループディスカッションを体験することにより、参加者からは「日本で就職をしようと思ったときに、どんなことを考えたらいいのか、とても参考になった」等の感想が寄せられました。

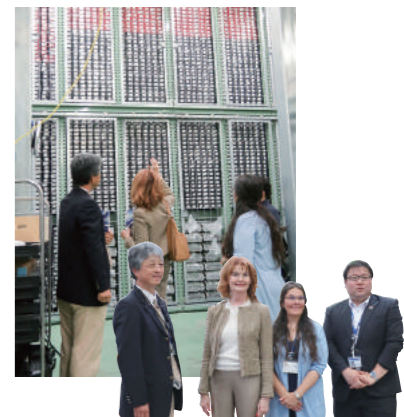
医学部医学科5年生間崎護さんがECCのホノルル市長杯第49回全日本青少年英語弁論大会大学の部において優勝



6月16日開催のECCのホノルル市長杯第49回全日本青少年英語弁論大会大学の部において、医学部医学科5年生の間崎護さんが見事優勝を飾りました。

間崎さんには「ホノルル市長杯・ホノルル市長公式訪問及びハワイ大学夏期セミナーの受講・賞状及び記念品」が授与され、8月4日から25日までハワイ大学に留学し夏期セミナーを受講しました。

アイスランド駐日大使が高知大学海洋コア総合研究センターを視察



6月21日、アイスランド共和国の駐日アイスランド大使であるエーリン・フリーゲンリング氏が、高知大学海洋コア総合研究センターを視察しました。

エーリン・フリーゲンリング大使は、海洋コア総合研究センターの岩井副センター長並びにカース助教からセンターで行われている研究内容の説明を聞き、世界最大級の磁気シールドルーム、国際深海科学掘削計画（IODP）のコア保管庫及び非破壊分析装置群などの研究施設を視察されました。

同センターでは、アイスランド大学地球科学研究所と平成28年に研究交流を開始し、平成30年に学術交流協定書を締結、平成30～31年度には日本学術振興会二国間交流事業に採択され、「アイスランドの溶岩層序群から古地球磁場強度絶対値の準連続変動を探る」（代表：山本裕二同センター教授）をテーマに共同研究を実施しており、今後更なる交流の発展が期待されています。

高知大学古本募金

読み終わった本で高知大学をご支援ください。高知大学古本募金は、皆様から読み終えた本・DVD等をご提供いただき、その査定換金額が高知大学に寄附される取組です。古本募金を通じて集まった寄附金は「高知大学さきがけ志金」として受け入れ、本学の教育研究・社会貢献活動の向上のために役立てられます。



〈お問い合わせ先〉

☎0120-29-7000
(受付 9:00～18:00)

高知大学古本募金 検索
運営協賛：古本募金きしゃぼん(嵯峨野株式会社)

高知大学から支援のお願い

■高知大学修学支援基金

本基金は、修学意欲を持ちながら、厳しい家計状況により修学困難な学生に対して給付する奨学金として活用します。

平成30年度 高知大学修学支援基金奨学金活用報告

以下のとおり、奨学金を給付しました。			
	18名	300,000円	5,400,000円
	2名	150,000円	300,000円
合計 / 20名			5,700,000円

■高知大学さきがけ志金

高知大学の理念である『地域社会及び国際社会に貢献しうる人材育成と学問、研究の充実・発展を推進する』ため、これらに対する事業の支援とその環境の更なる整備・充実を図ることを目的とします。

〈お問い合わせ先〉 高知大学総務部総務課

TEL : 088-844-8100 FAX : 088-844-8738 E-mail : sj02@kochi-u.ac.jp
URL : https://www.kochi-u.ac.jp/outline/kouhou/supporter/kikin_bokin.html

■平成30年度高知大学さきがけ志金による支援事業実施状況

特定目的寄附金（使途特定事業）から支援

内訳	【学生支援事業】	
	・岡谷研究室からふるカンパニーの活動費用	48,143円
	（県内小学校で放課後に児童に勉強を教える活動をしている高知大学生団体）	
	【教育研究支援事業】	
	・高知大学気象情報ページの維持管理費用	50,000円

一般目的寄附金（使途特定なし）から支援

内訳	・朝倉キャンパス南団地硬式テニスコート人工芝補修工事費	2,490,480円
	・岡豊キャンパステニスコート人工芝補修工事費	1,890,480円
	・朝倉キャンパス気象レーダー修理費	1,000,000円

高知大学修学支援基金・高知大学さきがけ志金について

【対象者】
本資金の趣旨に賛同いただける個人・法人・団体等

【金額】
個人による寄附金につきましては、1口1千円を単位とします。法人・団体等による寄附金につきましては、1口1万円を単位とします。支援とその環境の更なる整備・充実を図ることを目的とします。

本志金の趣旨をご理解いただき、なにとぞ複数口でのご協力をお願いします。

「高知大学修学支援基金」及び「高知大学さきがけ志金」（教育・研究・社会貢献活動による支援）に寄附を行う際に、インターネット決済サービスによる「クレジットカード決済」「コンビニ決済」「Pay-easy決済」がご利用いただけます。

朝倉キャンパス



黒潮祭マスコット「クロ助」

11月2日(土)・3(日・祝)

朝倉キャンパス「黒潮祭」

今年のテーマは“breakthrough～新しい時代の第一歩～”。各種模擬店や発表、ステージなど沢山のイベントを用意しました!令和という新しい時代と、第70回という節目を迎えた黒潮祭。新しい時代への第一歩をどんな風に踏み出すのか?ぜひご覧ください。

時間

2日(土)……………10:00～19:00

3日(日・祝)……10:00～17:30

高知大学朝倉キャンパス TEL:088-844-8149



11月2日(土)

〈第10回〉ホームカミングデー

久しぶりに母校を訪れてみませんか?在学生・教員との交流をはじめ、各学部で様々なイベントや記念講演を行います。皆様のお越しをお待ちしております!

物部キャンパス



11月3(日・祝)

物部キャンパス「一日公開」

今年も教育研究活動の一端を紹介し、地域の皆様に親しんでいただくため開催します。ご家族連れ、友達同士で「大学何してる?行ってみようか」の好奇心を満たそう。「施設すごい!」留学生お国自慢の手料理、家族と一緒に「これ楽しい!」を体験できそう!(全面禁煙です)

時間 9:00～15:00

高知大学物部キャンパス TEL:088-864-5114



Event Calendar

2019年度 定期公演

12月14日(土) ●高知市文化プラザかるぼーと(小ホール)

奇術部 Trick or Treat

第19回 マジシャンズパーティー

時間 開場18:30/開演19:00

12月14日(土) ●高知県立美術館ホール

高知大学合唱団

第48回

高知大学合唱団定期演奏会

時間 開場13:00/開演13:30

第59回 室戸貫歩開催

11月30日(土)・12月1日(日)

高知市の朝倉キャンパスから室戸岬まで約90km。夜を徹して歩こう!詳しくは高知大学ホームページのイベントをご覧ください。



一般の方もぜひご参加ください

2020年度 高知大学入試案内

人 人文社会科学部 教 教育学部 理 理工学部 医 医学部 農 農林海洋科学部 地 地域協働学部

推薦入試Ⅰ(出願期間)

2019年11月1日(金)～6日(水)

人 教 (教育学部・教科教育・特別支援教育、保健体育教育)

理 医 (看護) 農 (暖地農学、森林科学、生産環境管理学)

地

推薦入試Ⅱ(出願期間)

2019年11月1日(金)～6日(水)

医 (医)

2020年1月20日(月)～24日(金)

教 (科学技術教育を除く) 農

一般入試 前期日程・後期日程(出願期間)

2020年1月27日(月)～2月5日(水)

●お問い合わせ先 皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。



高知大学
Kochi University

高知大学総務課

高知大学 検索

http://www.kochi-u.ac.jp/



バックナンバーはこちらからご覧いただけます。



TEL.088-844-8643 FAX.088-844-8033 〒780-8520 高知市曙町2-5-1 E-mail:kh13@kochi-u.ac.jp

THE こうちユニバーシティCLUB ラジオ FM高知(81.6MHz) 毎週日曜日(9:30～9:55) 放送中

高知大学の教育、研究、地域貢献等の最新情報をラジオでお届け。高知大学のHPまたは番組ブログで過去の放送も視聴することができます。

【スポンサー企業】ソフテック

WIZ RADIO(ラジオ視聴用の無料アプリ)をダウンロードいただくとFM高知の放送が全国どこでもスマホで視聴できます。

※誌面の学年と役職は制作時のものです。